

平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年 5月26日記入

基本目標	Ⅱ ▼ ゆとりある みどり豊かな環境共生都市をめざして	施策コード	21210
政策名 (章)	第1章 人と自然にやさしい地域社会をつくれます	評価担当課	環境事業部 ▼
基本施策名 (節名)	第2節 リサイクル型社会の構築		ごみ減量推進課
施策名	リサイクルシステムの構築とごみの減量化・資源化の推進	課長名	山崎誠司

1 施策の概要・目的

市民・事業者・行政が一体となり、ごみの減量化・資源化の推進に取り組むなど「循環型都市 さがみはら」の実現を目指しています。

2 施策の現状

15の個別事業に取り組み、多様な方法で施策の実現に努めている。

3 総事業費及び人員

(1) 施策に要している総事業費

1,434,658 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

(2) 市民1人当りの事業費

2,329 円/人……人口は、**61.6** 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

(3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 **25** 番目です。

(4) 施策に要している人員

23.20 人……構成事務事業全体の人員合計

4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標
			現状	目標	達成度	目標年度
指標1	1人1日ごみ排出量 (生活系・事業系の一般廃棄物)	市民の分別排出への協力度を把握する。	994 g 単位	960 g 単位	96.50%	22年度
			0 50 100	0 50 100	達成度	22年度
指標2	減量・資源化率 (生活系のみ)	ごみの減量化・資源化を把握する。	22 % 単位	25 % 単位	88%	22年度
			0 50 100	0 50 100	達成度	22年度
指標3			単位	単位		目標年度
			0 50 100	0 50 100	達成度	目標年度

5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

ごみ処理に伴う環境負荷や費用の増大が行政の重要課題のひとつとなっている中で、ごみの減量化・資源化は必要である。

6 有効性…期待される効果があがっているか

分別回収の実施等による資源化等に効果を上げている。資源化率については、平成6年度から平成14年度の伸び率は35%の増となっている。(H6 16.2% → H14 21.9%)

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

1人当たりのごみの量とごみ処理に要した経費を平成6年度を基準として13年度と比較すると、ごみの量が11%増加しているが、経費については8%の増加となっており、ごみの量の増え方よりも経費については低くなっている。また、資源化等を一層進めることにより、処理費の軽減、最終処分場への負担が少なくなる。

8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

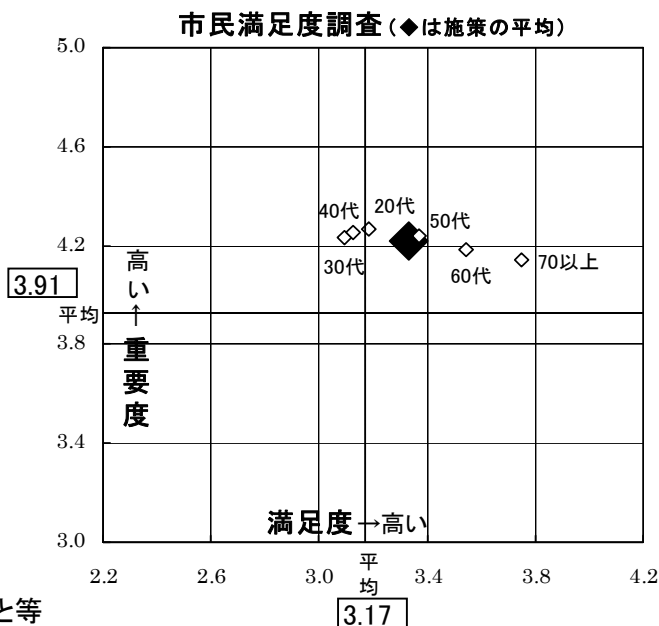
◆この施策の満足度は、3.330で、調査した51施策の中で8番目です。

◆この施策の重要度は、4.220で、調査した51施策の中で8番目です。

◆この施策の改善要望度は、0.630で、調査した51施策の中で19番目です。

◇年齢別にみると、満足度は20歳代～40歳代まではほぼ同じ水準ですが、50歳代以上では加齢にともなって大きく増加しています。重要度はあまり年齢による格差はみられません。60歳代以上でやや低くなっています。

市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)

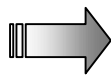


9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

- 新しい分別回収品目の追加(資源化・減量化の量の追加)
- 市民の主体的な取り組みの中で既存の分別品目の回収量の増加を図ること。

10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充する
<input type="checkbox"/> 現状維持する
<input type="checkbox"/> 見直し



説明及び具体的内容

ごみの減量化・資源化を図るため、種々の事業を推進している。特に平成14年度から大型生ごみ処理機導入事業をモデル実施した。今後もその結果等を踏まえ事業の有効性が確認できれば助成制度のあり方を検討してしていきたい。平成15年度の新たな取り組みは次のとおり。使用済み食用油回収事業(モデル事業)、アクションプランの作成、資源循環推進施設及び啓発施設整備計画の推進、資源分別回収の品目追加の検討。

11 2次評価

<input checked="" type="checkbox"/> A
<input type="checkbox"/> B
<input type="checkbox"/> C

説明

ごみの減量化・資源化について多様な視点から施策を推進するとともに、市民との協働による事業展開を図ること。また、市民の意識高揚や事業の適正実施の観点から、受益者負担の適正化を進めること。

12 外部意見

説明

循環型社会の構築に向けて、条例化を含めた市としての基本方針を明確にした上で新たな事業展開を図るべきである。また、適正な受益者負担のあり方について、検討する必要がある。

施策名 リサイクルシステムの構築とごみの減量化・資源化の推

施策コード 21210

構成事務事業一覧

事務事業名	担当課	評価年度	決算額 (千円)	人員 (人)	評価の概要									今後の 進め方	施策 中の 優先 順位
					総合 評価	達成 度	必要 性	効率 性	代替 性	満足 度	有効 性	公平 性			
廃棄物減量等推進審議会等 経費	清掃総務課	14	6,135	0.50	AAA	A	A	A	A	A	A	/	継続	1	
資源分別回収事業	ごみ減量 推進課	15	592,015	0.50	A	B	A	B	/	/	A	/	継続	1	
ペットボトル・白色トレイ回収 事業	ごみ減量 推進課	15	117,658	7.72	A	A	B	B	/	/	A	B	継続	2	
集団資源分別回収事業	ごみ減量 推進課	14	78,243	0.82	A	A	B	A	A	B	A	/	継続	3	
資源循環推進施設整備計画 策定経費	ごみ減量 推進課	15	6,165	0.30	A	B	A	A	/	/	A	A	完了	4	
剪定枝資源化事業	清掃総務課	15	22,471	0.10	AAA	A	A	A	/	/	A	A	継続	5	
生ごみ処理容器購入助成事 業	ごみ減量 推進課	15	9,934	0.50	A	B	A	B	/	/	A	/	継続	1	
大型生ゴミ処理機導入モデル 事業	ごみ減量 推進課	15	2,946	0.30	AAA	A	A	A	/	/	A	A	継続	2	
リサイクルスクエア運営事業	ごみ減量 推進課	15	38,108	0.68	AA	B	A	B	/	/	A	A	継続	1	
リサイクル週間経費	ごみ減量 推進課	15	8,030	0.37	A	B	A	B	/	/	A	/	継続	2	
粗大ごみ戸別収集事業	ごみ減量 推進課	14	307,343	1.20	AAA	A	A	A	A	B	A	/	継続	1	
粗大ごみ受入施設	ごみ減量 推進課	14	181,019	8.21	A	A	B	B	B	A	B	/	継続	2	
不法投棄対策事業	ごみ減量 推進課	15	29,390	1.00	AA	B	A	B	/	/	A	A	継続	3	
美化推進費	ごみ減量 推進課	15	33,201	1.00	A	B	A	A	/	/	A	A	継続	1	
美化運動推進事業補助金	ごみ減量 推進課	15	2,000	0.00	AA	A	A	A	/	/	A	A	継続	2	

合計 15 事務事業

1,434,658 23.20 平成14年度評価:達成度、必要性、効率性、有効性、代替性、満足度
千円 人 平成15年度評価:達成度、必要性、効率性、有効性、公平性